

令和 年 月 日

保護者 様

感染症の療養報告について

つくし保育園
園長 石原理恵子

感染の恐れのある疾病のため、感染力のある期間に配慮し、病状が園における集団生活に支障がない状態に回復してから登園していただくようお願いします。

(裏面の各感染症の「登園のめやす」を参考にしてください。)

登園にあたっては、医師の指導のもと、保護者の方が下記の「感染症における療養報告書」を記入し、園へ提出をお願いします。(なお、医師の診断により「登園のめやす」を経過せず登園が可能となった場合は、登園許可書の提出が必要となります。)

.....き.....り.....と.....り.....

保護者が記入

つくし保育園
園長 石原理恵子 様

感染症における療養報告書

組 氏名 _____

1 診断名 _____

2 診断を受けた医療機関： _____

3 診断日： 令和 年 月 日

4 登園再開日： 令和 年 月 日

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

保護者氏名 _____ 印

症病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排出しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
带状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂痂(かさぶた)化していること
突発性発疹		解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと

こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン」より

令和6年1月